

bed-peit], n. のうま。  
ed, a. 息続な, のろまな。  
ad-dress [əd'res], n. ① 話しかける。  
演: 精頭, 提案。② 住所, 所番地; あてて  
て先。③ 応対, 話しぶり。④ 手ざわ, 巧妙。⑤  
愛, くどき。⑥ 【法】 判事解任要請。⑦ th  
A- (イギリス議会の) 効語奉答文, funeral  
弔辞, opening (closing) ~ 開(閉)会の  
change of ~ 住所変更, man of good  
応対のじょうずな人, address book 住  
give (deliver) an address on ... に開  
演する, inaugural address 就任演説,  
one's addresses to a lady (夫人) おもて  
る, 求婚する, with address ために, によ  
く。  
—, vt. ① 話しかける; 演説する, 使  
出する。② 言い寄る, くどく, ③  
宛てる, ④ 従事する, ⑤ 【法】  
請する, ~ her as Mary (記)

# ADDRESS VOICE

No.48  
2020.2.14

## 【沈丁花の香りさがす 春よ号】

株式会社アドレス 〒921-8147 金沢市大額 1-342-3 《TEL》076-298-8585 《URL》http://www.adrs.co.jp 《Email》office@adrs.co.jp

編集・発行人 松本・中村



### ぷくぷく通信

代表取締役 中山雅美

Pukku Pukku  
Greetings

花束を頂きました。思いもかけないところで。

創業直後から都内のとある経営者の研修会での講演録作成をお手伝いしてきました。年間12回ずつ、546回を重ねて、その研修会が閉会することになり、お世話になったお礼を申し上げたくて、さよならパーティに出していただきました。

その席では、会場のホテルの料理長やパンケットスタッフへの感謝の花束が主催者から贈られました。素敵なお心遣いに感じ入りながら拍手をしておりましたところ、最後に「長い間講演録の作成を・・・」と司会者に呼ばれたのです。おどろくやらうれしいやらで、その晩は一抱えもある大きな花束のカサブランカが放つかぐわしい香りが満ちた部屋で、王女さまみたいにやすみましたよ。

「90分の講演録を6000文字に要約する」ことを25年にわたり300回も繰り返してきたわけですが、毎月一度必ず受託するこの案件が、私たちの要約文作成のメジャー、ゲージになり、実にたくさんの制作者の教材にもなりました。本当に長い間ありがとうございました。私たちの方がたくさんのものを頂戴しました。

会場では「金沢からやって来た」との紹介に、声だけなじみになった高名な先生方や、出席の方々とのお話も弾み、私のあざかり知らないところで「金沢」が持っているポテンシャルの高さを改めて知らされました。

その金沢では、今たくさんの元気な女性経営者が地歩を固めています。彼女たちと話すと、それぞれが金沢の持つポテンシャルをインパクトに換えて、独自のネットワークを作り、大きく変わろうとしている過渡期の今を、それぞれの個性と能力と潔さで切り開いていっている、その様子に大きな刺激を受けています。

### 早歩きの亀 第2回

## ——「さ、ひっくり返そう。」——

TTL制作部 亀村

われわれがオフィスを構える石川県では、今年に入って大相撲の話題で持ちきりです。1月の初場所では、石川県出身の遠藤関が初日、2日目と連日の金星を挙げましたし、北陸新幹線「かがやき」に由来する四股名を持つ輝関も順調に星を伸ばし、来場所は幕内上位に食い込みそうです。お隣富山県では、昨年初賜杯を手にした朝乃山関が大関候補の筆頭まで駆け上り、フィーバーは冷めそうもありません。

そんな中、今年に入ってある大手百貨店の広告・CMが注目を集めました。これまたご当地力士の幕内最軽量力士・炎鵬関が登場する、あの広告です。

「大逆転は、起こりうる。わたしは、その言葉を信じない。」「今こそ自分を貫くときだ。しかし、そんな考え方は馬鹿げている。」「そして最後は「土俵際、もはや絶体絶命。」と、ネガティブワードがどんどん畳みかけられていくので、このテレビ CM 版を初めて見たとき、とても不思議な感覚になりました。しかしこのメッセージには逆から読むと意味がひっ

くり返り、ポジティブな文章になるという仕掛けがあったのです。軽量のハンディをもろともしない炎鵬関の心意気を表すとともに、伝統ある相撲界を切り口にしたからこそ生まれる意外性もありました。

我が身を振り返ってみても、大学入試でテスト問題の1ページを開けたときや、新聞記者をしていた頃になかなか取材相手の心の扉を開けられなかったときなど、「大逆転は、起こりうる」と信じたい瞬間は数知れず。ただの気休めにすぎないこともありましたが、「大逆転」を信じるだけで一筋の光が見えたこともあります。

ただ、「大逆転」を起こすには、努力に裏打ちされた自信もまた必要です。2020年の干支は庚子(かのえね)で、「庚」のつく年も「子」のつく年も変化の年といわれます。「大逆転」とまではいかないまでも、鼠のように変化に機敏に対応できる力を蓄えておきたいと思いを新たにしています。



## Special Feature >> Staff's Voice @ ADDRESS

# スタッフ紹介



産休育休を迎える者、  
復帰する者もいて  
日々スタッフにも変化が。  
ぜひご一読ください。



**今** 回は制作担当の若手社員を中心に自己紹介をしてもらいました。普段はお客様とお会いする機会の少ないメンバーですが、お送りしたメールに制作担当者の名前を見つけましたら、顔を想像しつつ、少しでも親しみを持っていただければ幸いです。

**制** 作部の菅原です。医学や、外国語が関係した案件を中心に、さまざまなジャンルの案件を担当させていただいているます。大学時代の専攻は心理学で、無気力について研究していましたが、少なくとも仕事中はやる気がありますので安心ください。

趣味は温泉です。特に好きな温泉地は別府で、休暇のたびによく行っています。温泉地を巡り続けていると、温泉は全国各地にあるので、仕事上どんな地域の話題に当たっても大抵わかるという効能もあります。「別府八湯温泉道名人」、「温泉マイスター」などあります。温泉に関わるシンポジウムなどのお仕事を頂けましたら泣いて喜びます。

また、昨年4月から中国語を習っています。日本語テープおこしでも、日本語発言に中国語の単語が交ざることや、中国語→日本語の通訳発言をおこすことがあります。そのようなときに中国語が分かれば聞き取りの不明点を減らすことができると考えたことと、元々中国の文化に興味があったことから習いはじめました。分かる単語を地道に増やしていきたいです。

2020年2月上旬から産休・育休を頂く予定ですが、仕事の幅を広げて戻ってこられればと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

TTL制作部 菅原

**宮** 業部の山田です。主に東京エリアのお客様の窓口担当をしています。縁あってアドレスに入社して4年がたとうとしています。大学では外国語（韓国語専攻）を学び、ソウルやロンドンに留学しました。今も言葉を忘れないようにとは思っていますが、全盛期からは若干力が落ちたように思います。お仕事でも語学力が生かせられればと思っていますので、外国語、特に韓国語関連のお仕事がありましたら、ぜひご相談ください！

家では1男1女の父親です。休日は子供と自分の趣味でもあるサッカー（Jリーグ開幕以来の横浜F・マリノスサポーター）をしたり、ヒーローショーと一緒に見に行ったり。子供たちの保育園への送り届けやヘアカットも担当です。もうしばらくは「お父さん！」と仲良くしてもらえるといいのですが…。昨年からラーメン屋巡りを始めて、いろいろなお店を回っています。地域に限らず、おすすめのお店の情報、大募集中です。

出張で東京や他の地域にもお伺いすることがあります。どこへでも参りますので顔を覚えていただけすると大変うれしく思います。その際でも、弊社にリクエストやご意見などございましたら、是非お気軽にご相談ください。

営業部 山田

**8** 月に生まれた娘は近頃、何かを触ったり見つめたり、世界に興味を持ち始めたようです。

天気の良いある日、娘が窓の方を向いて寝転がり、レース編みの膝掛けを顔の前に引っ張り上げて、じっと見つめています。不器用な小さい手で、落としてははげ、落としてははげ、10分か15分か、かなり長い時間そうしていました。そのまま寝てしまふ娘に膝掛けをかけ直そうとして、ふと同じことをやってみたのです。

すると、窓の水滴に太陽の光が反射して、編み目の隙間からチラチラと七色に光っていました。それは思いの外うつくしい景色で、私にとっては毎日鬱陶しいだけだった窓の結露も、娘の目には全然違って見えていたのだと、しばらく床に転がって光を眺めました。

テープおこしでも、「誰かの目を通して世界を見る」感覚になることがありました。話し手の言いたかったことを正確に汲み取ろうと集中していると、自分がその場にいるような、あるいはその人に成り代わって会話をしているような感覚になってくる。そうなると不思議なことに、多少録音状態が悪くても驚くほどよく聞こえるのです。久しぶりにそのことを思い出し、4月からの職場復帰に思いを馳せた早春の出来事でした。

TTL制作部 大野

**T** TL制作部の本吉です。趣味があまり長続きしない私ですが、ここ数年ゆるゆると続いているのが食器集めです。有名ブランドや高級品ではなくて、ふらっと立ち寄った雑貨屋の食器コーナーで自分好みの柄や形のものを見つけるのが好きです。特に棚の隅の方でそういうものを見つけると、掘り出し物を探し当てたような気持ちでうれしくて、高確率でレジに持っていってしまいます。

新しい食器を買うと料理にも気合が入ります。その食器に似合うようなものをと思って初めてのメニューに挑戦することもありますし、出来合いのもので手抜きをした日も、お気に入りの食器に盛り付けるだけで随分気持ちは違います。最近はシンプルなデザインよりもカラフルで個性的なものが好きで、一人暮らしなので使い勝手はあまり気にせず、直感で「かわいい！」と思ったものを買っています。

小鉢からどんぶりまでだいぶ集まってきたが、焼き魚・煮魚用のお皿ももうちょっと増やしたいし、急須と湯飲みも欲しい気がするし、箸置きも集めたい…。シンク下の収納が手狭になってきたので、そろそろ食器棚を導入しようかなと考えています！

TTL制作部 本吉

**会** 議録作成を主に担当している池田です。そこで多種多様な世の中の動きを垣間見て最近よく出会うキーワードが「AI」です。ここ数年で從来以上にAIの応用分野が広がり、AIを活用した文字起こしサービスも数多く出てきています。中には単にリアルタイムで音声をテキスト化するだけでなく、サマリーを作成してくれるものもあります。

しかし、AIには共感力がなく、ニュアンスを理解できません。また、過去の履歴がないところから想像力を膨らませることもできないといわれています。私がこの仕事を始めたときに最初に教わったことは、「発言者が本当に言いたかったことは何か、耳ではなくて頭で聞かなければならない」ということです。ですから、発言のニュアンスが損なわれないよう注意し、「てにをは」にも気を配ります。発言中の固有名詞等の事実関係については、必ず裏付けを取ります。不可欠な情報が欠けている場合は、それを補うこともあります。それは機械的に聞こえたとおり発言を文章化するAIにはできないことです。

発言者への共感力を最大限に働かせた人間ならではのデータこそがお客様のお役に立つと信じ、今日も声に耳を澄ましています。

TTL制作部 池田